



小型ポンプ操法・ポンプ車操法・総合

鹿角支部

三部門制覇

第四八回秋田県消防操法大会

題字 初代会長 松野盛吉
定価 1部 5円
(購読料は年会費に含む)
発行人 〒010-0951
秋田市山王四丁目1番2号
秋田地方総合庁舎内
秋田県消防協会
会長 中泉松之助
電話 018-867-7320
FAX 018-863-5910
http://www.shoubou-akita.or.jp
E-mail:ask@shoubou-akita.or.jp

印刷 〒010-0951
秋田市山王7丁目5-29
株式会社 松原印刷社
電話 018-862-8760
http://www.matsubarainsatsu.co.jp

平成二十三年度全国統一防火標語

消したはず 決めつけしないで もう一度

国旗掲揚の後、参観者も参加して東日本大震災で犠牲となられた方々に黙祷を献げた。

続いて前年度の優勝団・支部から優勝旗が返還され、秋田県中野節副知事、秋田県消防協会中泉松之助会長が主催者のあいさつを述べた。

来賓祝辞は多数のご来賓を代表し、秋田県議会副議長小松隆明様が行い、秋田県消防学校本間稔校長の審査長指示、最後に昨年度総合優勝の男鹿潟上南秋支部を代表して大潟村消防団第三分団工藤和博部長が宣誓し、競技が開始された。

主催者あいさつ(要約)



秋田県副知事 中野 節

今年度は東日本大震災により東北地方の太平洋側を中心に甚大な被害が発生したほか、本県を始め全国各地で局地的豪雨による自然災害が相次いでいます。また、火災や事故は毎日のように発生しており、まさに、



秋田県消防協会会長 中泉松之助

私たちは災害と背中合わせに暮らし、日夜その危険にさらされています。消防団の皆様には、いつ発生するか分からない様々な災害に適切に対応し、地域の安全・安心な暮らしのために、大きな役割を果たして下さるようお願い致します。

この操法大会は、消防団員・女性消防隊員の消防技術の向上や消防活動の充実強化を図ることを目的に、昭和三十七年八月、小型ポンプ操法大会を開催したのが始まりで、その後、全国消防操法大会への出場予選も兼ねて実施しています。

平成六年の第三一回大会以降、本大会で優勝し、全国大会に出場した団は、いずれも優良賞以上を受賞されています。

皆さんには、この大会の目的と歴史にご理解を賜り、正々堂々と全員が納得のいく結果を出されるよう頑張ってください。

開 会 式

開会式は、小坂町消防団木村和男副団長の指揮で進められ、選手入場

第四八回秋田県消防操法大会は九月八日(木)、由利本荘市岩城の秋田県消防学校放水訓練場で行われ、県内九支部の予選を勝ち抜いた小型ポンプ操法の部九分団、ポンプ車操法の部七分団が出場し、日頃の訓練の成果を競った。

競技の結果、小型ポンプ操法の部では鹿角市消防団第五分団が、ポンプ車操法の部では小坂町消防団第四分団がそれぞれ優勝し、総合の部の優勝は鹿角支部に輝いた。

また、昨年度国のモデル少年消防クラブに指定された能代市少年消防団と、今年度の全国女性消防操法大会に出場する横手市平鹿女性消防隊が、軽可搬ポンプ操法を披露した。

競 技

各出場団は、それぞれの支部代表として熱戦を繰り広げ、優勝した団の総得点は、小型ポンプ操法の部・ポンプ車操法の部とも、昨年度を上回る成績を残した。

今大会で審査班長を務められた秋田県消防学校佐藤広樹教務班長に、審査を通じて感じた事項や印象などを伺ったので紹介する。

■総合

全体的にホースラインは良くできており、送水にも配慮が覗えたが、規定外圧力の隊があったのは残念。今年度、操法要領の一部を全国大会に沿った解釈に変えたこともあり、その対応ができていた隊とできていない隊の差が現れていた。

■小型ポンプ操法の部

総得点を見ると、上位二隊と下位との差がある。上位の隊は、熟練度が高くスムーズに動いていた。

一つ一つの動作が雑な隊が半数以上になり、規定圧力オーバーの隊が二隊あった。

■ポンプ車操法の部

ホースラインが良くなかった隊や土気の低い隊が見られたのは残念。

また、中には、回れ右や注水時にふらつくなど基本的な姿勢や動作が不安定な隊員が見られた。





操法披露(一)
能代市少年消防団

能代市少年消防団は、平成二二年八月一七日に結成した秋田県初の少年消防団で、全員が小学生。現在の団員数は一三名、うち女兒が三名の構成となっている。
結成以来、AEDを使った救急救命講習や規律訓練などに挑戦し、今年の出初め式では分列行進にも参加した。
軽可搬ポンプ操法は、今年の七月から始めたばかりということだったが、仲間と一生懸命練習した成果を十分発揮し、小学生らしく屈託のない元気溼刺とした操法は、大会に出場した団員らに大きな感動を与えた。これからも頑張ってください。



操法披露(二)
横手市平鹿女性消防隊

横手市平鹿消防団に女性団員が生じたのは平成二〇年一月で、現在の団員数は一三名となっている。
彼女たちは、高齢者世帯訪問での防火意識の啓発、住宅用火災警報器の普及指導など地域に密着した活動を展開しているほか、軽可搬ポンプ操法にも取り組み、防火防災に大きく貢献している。
大会では、キビキビとした動作、明晰な号令など男性団員にひけを取らない操法を披露し、来る一〇月一日、横浜市で開催される第二〇回全国女性消防操法大会での活躍が大いに期待される。
頑張れ！横手市平鹿女性消防隊

第48回秋田県消防操法大会成績表

【小型ポンプ操法の部】

順位	消防団名	タイム(秒)	総得点(点)
優勝	鹿角市消防団第5分団	41.98	87.0
第2位	三種町消防団山本支団第4分団	42.50	86.0
第3位	横手市山内消防団第1分団	42.19	78.5
第4位	大仙市消防団大曲支団第2分団	43.19	77.0
第5位	東成瀬村消防団第1分団	44.95	75.0
第6位	潟上市消防団飯田川支団第2分団	45.83	74.5
第7位	にかほ市消防団第3分団	43.71	73.0
第8位	秋田市消防団河辺第3分団	43.27	67.0
第9位	北秋田市消防団阿仁第1分団	50.17	55.0



鹿角市消防団 第5分団

【ポンプ車操法の部】

順位	消防団名	タイム(秒)		総得点(秒)
		第1線	第2線	
優勝	小坂町消防団第4分団	53.10	64.44	176.5
第2位	横手市十文字消防団第3分団	52.06	64.53	174.5
第3位	大瀧村消防団第3分団	52.06	71.99	165.5
第4位	大館市消防団比内第1分団	51.80	67.77	163.5
第5位	秋田市消防団城東分団	54.09	65.77	161.0
第6位	第3位にかほ市消防団第6分団	57.22	68.34	150.0
第7位	三種町消防団琴丘支団第1分団	64.32	66.56	148.0



小坂町消防団 第4分団

【総合の部】

優勝 鹿角支部 (総得点 263.5点)



秋 田 県
消防学校

第六五期初任教育修了式
九二名全員修了 第二線での活躍を期待

秋田県消防学校第六五期初任教育の修了式が九月一六日(金)、同校の屋内訓練場で修了生のご家族やご来賓約二三〇名が出席して行われ、四月に入校した九二名は全員揃って修了式を迎えた。六ヶ月間の厳しい訓練を乗り越えた修了生は、明日からそれぞれの所属消防本部に着任し、消防士として活動することとなる。

修了式は、最初に本間稔学校長が修了生一人ひとりに修了証書を、また、成績優秀者に表彰状を授与した後、学校長式辞、秋田県知事あいさつ、来賓祝辞、修了生答辞が述べられ、最後に校歌を斉唱して終えた。

表彰状授与

優 秀 賞(八名)

大館市消防本部 佐藤 亮
大館市消防本部 若狭 健也

能代山本広域市町村圏組合消防本部 伊藤 謙吾

能代山本広域市町村圏組合消防本部 厚木 克矢

能代山本広域市町村圏組合消防本部 畠山 歩

大曲仙北広域市町村圏組合消防本部 畠山 弘也

大曲仙北広域市町村圏組合消防本部 佐藤 一光

大館市消防本部 高橋 大貴

功 勞 章(五名)

大館市消防本部 総 代 本間 敬浩

大館市消防本部 副総代 藤原 章人

由利本荘市消防本部 副総代 大友 泰隆

北秋田市消防本部 会 計 田中 宏和

湖東地区政一部事務組合消防本部 会 計 鏡 文成

学校長式辞



秋田県消防学校
学校長
本間 稔

修了に当たって「夢、一生」という言葉を贈りたい。皆さんが厳しい教育訓練に耐えてきたのも、立派な消防職員になるという夢、強い信念があったからこそと思う。これからの人生、初心を忘れず、夢を持ち続け、立派な消防人になってほしい。

修了生答辞



大館市消防本部
消防士
本間 敬浩

東日本大震災、台風一二号による大雨や土砂災害など悲惨なニュースは後を絶ちません。私たちは、地域住民の生命、身体及び財産を火災から保護し、地震等の災害による被害を軽減するほか、困っている人を助けたいという初心と使命感を忘れず、消防業務に尽力していきます。この半年間、消防学校で培ったことを胸に、各地域そして秋田県消防の更なる発展に資することを誓います。



第七回 消 防 団 員 意見発表会(三)



戸澤 幸作

・仙北市消防団
分団長

・勤続三五年

・農業

父親の後を継ぎ消防団に入団。普段は専業農家として地元農業の発展に貢献し、地域住民からも信頼されている。

そして、消防団活動にも積極的に貢献し分団員の信望を集め団員の指導育成、技術の向上に努め現在は団員五十一名の分団長として常に統率と規律のある分団を目指している。

「私を育ててくれた消防団」

私たちの分団は、角館の桜並木がある松木内川の対岸から上流にあります。山と川に囲まれた静かな農村地帯です。

現在五十一名の団員がおりますが、内、親子で団員が四組おります。大変ありがたく思います。しかしながら今危惧しているのが団員不足です。去年は、四人入団しましたが、定年などで退団者もおりますので、なかなか増えないのが実

情です。

私自身は入団して三五年になりますが、入団二年目に小型ポンプ操法の一番員を命ぜられましてから、消防にはまった一人であります。当時青年会等、色んな組織や趣味のサークルにも入りまして、それなりに楽しいことが有りましたが、三五年間続けているのは消防団だけです。

最初は何と言ってもポンプ操法の魅力と、事あることの酒飲み会でした。豊富な知識や役職をもつ人、尊敬する先輩団員が大勢おりまして、災害現場の経験談から、消防以外の多くの事も教わることに興味が湧いてきて、あらゆる集まりに、負担とは思わずに、むしろ、わくわく期待して参加したような気がします。

集まれば殆ど飲んできますので、小言を言う妻に「消防は、他の飲み方と訳が違う。飲みながらいろいろ教えて貰えるし、いっぱい覚えれば地域防災の役にたつてみんなの為になる。」そんな屁理屈めいたことを言いながら出掛けて行きました。盛り上がりすぎての失敗もあります。名誉の為に詳しく言えませんが、古い人は大体前歴があります。

しかし実際に、改まった団員教育の機会はなかなかありませんし、今も飲んでいる中で知識を得ることはかなり多いと思います。これまで二回の機構改革がありまして、当時からしますと、四個分団がまとまって広範囲になりましたので、一堂に会しての酒飲みはやりにくくはなりましたが、団員の活気や親睦の為に重要なことのひとつと思います。

仙北市では、チラシや広報紙などで団員募集をしています。おかげで女性団員は増えていきます。男性とは違った形で防災のPRなどに大いに活躍しております。また、音楽隊もあります。今年の出初め式では角館の武家屋敷通りに整列して分列行進の後、商店街をパレードして住民にアピールしました。時代と共に、また、年代によっても価値観は違うと思いますが、消防団の目的は変わっていませんし、地域に必要な不可欠のものとはみんな思っています。

東日本大震災のあとに、多くの若者が「何か被災者の手助けをしたい。」と言っていました。もう一歩踏み込んで、災害から住民を守る消防団員になつてもらえないだろうか。

私達の住む内陸南部では頻繁に余震が起きています。大災害が起きた歴史もありますので不安です。また、昨年はかつてない集中豪雨が半月に三回もありまして、その度に出動しました。

静かで穏やかな地域を守る中で、様々な出会いや楽しみもあり、生き甲斐すら感じられる消防団活動に、もっと多くの人達に参加して貰いたいと思います。多少の危険を伴う事もありますが、その為にも訓練を行います。いざ出動の時には、心配しながら送り出してくれる家族のもとに、無事に帰るように見守ってやるのも、我々幹部の役目だと思っています。

行政や広域消防など関係機関の指導協力を得まして、今まで培ってきたことを地域や分団の後輩に伝えながら、私を育ててくれた消防団のため、自分も一層精進していきたいと思っております。





高橋 隆

・横手市山内消防団部長
・勤続十二年
・会社員

自宅が火災にあったことをきっかけに入団。
以来、小型ポンプ操法の練習に熱中し、地区大会では常に好成績を修め、平成二二年度には横手市支部大会優勝を果たし、念願の全県操法大会へ出場した。
消防団活動に精励しており、率先して行動に当たる姿勢は他の模範となっており、地域の人望も厚い。

「地域に根ざした

消防団を目指して」

私が消防団に入ったのは、平成一年でした。

当時、私の本家の親父が分団長としており、ある日酒二升を手土産に、家に来て「消防さ入らねが」と誘われたのを覚えています。その際、平成八年に私の家が火事になった時に消防団の人達に大変お世話になった事を本家の親父から聞きすぐに入団する事を決意しました。

小型ポンプ操法は入団した次の年からやらせてもらい、今年で一二年目になります。

八年間二番員をやり、四年前から

指揮者をやらせてもらっています。今の機械係は、私を始め一番員、二番員、三番員、補助員まで、とにかく熱い人間ばかりが集まっています。練習がしたくてしたくてたまらないうえ、今までは大会前三週間前に始めていた練習を四月から始めるようになりました。

私達の練習の時に一番欠かせられないアイテムがビデオです。これは、団員の奥様が毎日のように練習に来てくれて撮影してくれます。それも、ご飯の準備など一番忙しい時間帯であるにも係らずです。いつの間帯からそれが当たり前の事の様になってしまいました。毎回ビデオを見ながら撮りに来てくれる奥様方には本当に感謝しています。

さて、練習の後はお決まりのポンプ小屋でのコミュニケーションですが、私達機械係だけは、ポンプ小屋解散の後必ず指揮者である私の家にもう一度集合します。そして、奥様方に撮ってもらったビデオを見ながら「あそこは良くなかった」、「あそこはまだだめだ」等と、その日の練習内容について熱く語り合います。次の日には、朝五時から規律訓練の練習があるにも関わらず、時には日付変更線を越えて話し合うこともしばしばです。その甲斐もあってか、指揮者一年目で地区大会優勝、去年はついに支

部大会優勝を果たし、念願の県大会に出場する事ができました。

結果は四位と三位にはあと〇・五点届きませんでした。あの時の緊張感とゾクゾクする感じは今でも忘れられません。まさか、アラフォーにもなつてこんなにも熱い思いがでけるとは思いませんでした。誰かが、消防の全国大会は親父達の甲子園だと言っていたのも分かったような気がしました。

また、県大会出場の際に、山内地域としては、私達が四三年ぶりの出場ということで、地域全体から寄付を集め、大きなぼりを作っていた。だき応援してもらいました。

また、今まで、顔は知っているけれども話をした事なかった人達から、沢山「がんばれよ」と声をかけてもらったり、握手を求められたりしました。あんなにも沢山のひと握手をしたのは初めてでした。

県大会出場をきっかけに、地域の人達の消防団を見る目も少し変わってきたように思います。これからは、さらに地域との絆と連携を深め、地域の防災意識をもっともっと高めていけるよう努力していきたいと思えます。

これからも消防団員として、仲間と共にできる範囲で楽しく頑張っていくきます。



佐々木 長一

・湯沢市消防団分団長
・勤続四四年
・塗装業

仕事の傍ら、横堀地区下旭町町内会の監事を長年務めており、町内会の運営に尽力しています。
消防団活動においては、分団長として団員の統率力と現場における判断力に定評があり、部下団員からも広く慕われている存在です。

「我が横堀分団を顧みて」

私は「かの伝説の美女」とも言われている「小野小町の里」雄勝こまちインターから程近い、湯沢市横堀と言う小さな町から、この日のために送り出され、胸の「ときめき」を抑えながら会場へとやって参りました。

私の生い立ちは、終戦後の食糧難など混乱の最中、昭和二二年に生まれ落ちて、幾多の困難を乗り越え、どん底の生活から這い上がって昭和四二年の正月に、元雄勝町消防団第一分団に入団したのが、二〇歳の時でした。

新春恒例の出初式に参加する事になり、先輩達のお下がりである年期と汗の臭いがする「半纏」を着て、朝一番に近くの神社に集まり、無火災の祈願を行ない、更には神社の広

場にある、古しえの記念碑に酒と塩とスルメと梅干を供えて、先人の御霊を敬い、消防団の発展を願う習わしがありました。

その記念碑には、「横堀村消防組」初代組頭小山田寅蔵君碑と刻まれており「明治二三年から明治四四年までの二三年間」初代組頭を務めた後、「二代目組頭」はその息子である、小山田八兵衛が後を継ぎ「大正元年から昭和一二年まで二六年間」の組頭を務めました。そして「三代目」は孫の、小山田兵太郎が横堀町の団長となり「昭和一三年から昭和四七年までの三三年間」団長を務め、その途中、町村の合併により雄勝町消防団となり、引き続き雄勝町消防団初代団長となりました。

又、その石碑には「父・子・孫」と三代に渡り、最高幹部として消防団活動に貢献せる功績を讃えるため、この碑を建立し是を顕彰するものなりと印されておりました。

因みに、この三代は「名月」という酒屋の蔵元でございまして、酒好きの団員にとっては最高の組頭であり、団長だったと思われず。

当時、横堀地域で酒飲の横綱と言われた、私の祖父は、かの日露戦争に駆り出され、出兵して戦場に赴き、仲間が銃弾で「バタバタ」と倒れる中を、運命さながらに生き延びて、家族

が待つ我家へと帰つて来たそうです。その後、消防組に入り初代組頭の下で火事ぶれの半鐘を打ち鳴らす役目を担っていたそうです。

そして又、私の父も私が二〇歳の頃まで、消防団員として活動しておりました。

振り返つて見ますと、私も「親子三代」約百年に渡り消防団活動に、今も尚、携わっている事に、ちよっぴり誇りを感じています。

そして又、消防組の始まりを調べてみると、明治五年から昭和一四年まで、約六八年間続き、その後消防組から今の消防団となつて今年で約七二年となり、実に約百四〇年間続いている事にその歴史を感じました。

話が変わりますが、私が入団した頃、夏が近づいて来ると恒例の訓練大会に向けての練習が、近くにある小学校の校庭で始まります。

時間は、いつも夕方から夜になるので、投光器を準備して団員が集まつて来るのを待っていると、足元が見えなくなるのを見計る様に、晩酌をたっぷり飲んだ先輩達が「よたよた」と集まつて来ては、世間話に花を咲かせ、地震が来たかの様に「グラグラ」しながらの練習が始まりました。

指揮者は、大声で号令を掛けては、走り回り、汗を流しながら頑張っていました。

新米の私は、先輩達にいろいろと教えてもらいながら練習に励みましたが、大会での成績は当然ながら最下位に近い結果でした。

そして、大会も無事に終ると、各班に別れて飲会が始まります。飲み捲つては騒ぎ立て、飲み続けては、踊り出すなどして、挙句の果ては、松尾芭蕉の「夏草や・兵どもが・夢の跡」となつてしまいました。

やがて、平成に入り先輩達も「次々と退団して行き、漸く我等の出番が回つて来ました。早速「悪い風習を引き摺る事なく練習の時は特に「酒を慎み」気持ち新たに、指揮者と共に訓練を積み重ね、上位入賞を目指した結果、平成一〇年度の大会に於いて「奇跡」とも言える優勝を果す事が出来たのです。長年の夢が遂に叶つた、この優勝の喜びを共に分かち合いながら、大乾杯をして「兵どもが酒の跡」にならない様に、その「絆」を深め合いました。

そして、この優勝を切っ掛けにして、ポンプ操法の訓練にも力を入れて、努力を続けています。何はともあれ、団員一人ひとりの気持ちを、更に「ふるい起して」共に助け合いながら訓練に励み、より一層の「團結と絆」を強める事が出来る様に「誠心誠意」頑張つて参りますので、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

支援をよろしくお願い申し上げます。

森田ポンプ
桜ホース・ソフト吸管
各種消火器

ラビットポンプ
消防被服一式
消防機器一式

株式会社 協立
株式会社 能代消防センター

〒016-0846 能代市栄町12の3
TEL (0185) (52) 6361
(52) 6494

地域の防災、災害対策に貢献!

消 防

ポンプ自動車
小型ポンプ
ホース

設 備

火災報知器
スプリンクラー
消火器

猿田興業株式会社

秋田市山王六丁目10番9号 TEL 018 (863) 1551(代)
猿田興業ビル7F FAX 018 (824) 3651

支部情報アラカルト

第三十九回 男鹿地区中学校
防火・救急救命弁論大会

Ⅱ 男鹿潟上南秋支部 Ⅱ

九月十四日に男鹿市立瀧西中学校を会場に、第三十九回男鹿地区中学校防火・救急救命弁論大会が開かれました。

この弁論大会は男鹿地区消防本部管内の中学校生徒等の防火・救急救命に関する意識の高揚と啓発を図ることを目的とし、秋田県消防協会男



鹿潟上南秋支部の主催で毎年行われています。

管内の中学校七校からそれぞれ弁士が出席し、日常生活で経験した防火・救急に関する事柄、感じたことなど、題材は自由となっていて、今年には八名の弁士が発表しました。

最優秀賞に輝いた男鹿市立瀧西中学校三年 杉本 美笛さんの弁論テーマは「一人ひとりができること」で、「私たちは誰かの役に立てるように、誰かの命を救えるように、心構えや準備を怠らないことが大事であり、一人一人が出来ることはちっぽけなことかも知れないが、かけがえのない命を救うために可能性が少しでも高くなるのなら、勇気をもって救急救命活動をしよと思う」と、身振り手振りを交えて熱弁しました。こ



	平成23年		平成22年			同期比較	
	9月	累計	9月	累計	年計	9月	累計
建 物	16	165	17	184	235	- 1	- 19
林 野	0	17	0	13	13	0	4
車 輦	3	29	0	20	27	3	9
そ の 他	6	50	1	46	57	5	4
合 計	25	261	18	263	332	7	- 2
死 者 数	2	28	4	18	20	- 2	10
負 傷 者 数	2	43	2	49	58	0	- 6

(秋田県総合防災課調べ)

火災の発生状況
速報値

の他にも、優秀賞には、大潟村立大潟中学校二年 藤井 望さん、テーマは「絆で防ぐ火事」、また、同じく優秀賞は男鹿市立男鹿東中学 二年 高桑 栞南さん、テーマは「生死を分ける判断」で、どれも感銘を受ける素晴らしい内容となっていて、弁士が発表し終わると、会場内は大きな拍手につつまれていました。
(情報提供Ⅱ 男鹿潟上南秋支部)

トーハツ消防ポンプ
モリタ自動車ポンプ
消防被服全般
秋田県代理店

総合防災設備センター

株式会社 高義商会

(営業種目) トーハツ小型動力ポンプ
モリタ自動車ポンプ
ジェットホース
消防被服全般
火災報知器各種
消火器各種

〒012-0105 本社 湯沢市川連町字万九郎屋布32 ⅴ(0183)(42)2125
〒012-0844 湯沢市田町 ⅴ(0183)(73)2588

株式会社 夕 力 吉

秋田県横手市寿町1番28号
TEL (0182)(32)3880

(営業種目)

日本機械自動車ポンプ | キンパイホース
トーハツポンプ | シバウラポンプ
各種消防機械器具 | 各種消火器
消防設備保守点検

ホームページ <http://www.17.ocn.ne.jp/~takagi/>
E-mail ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp